

## セルフモニタリング報告書(令和2度分)

令和3年4月30日

施設名 ダイナックス沼ノ端アイスアリーナ  
 指定管理者名 (公財)苫小牧市スポーツ協会  
 所管課名 まちづくり推進室スポーツ都市推進課

モニタリング項目	指定管理者 コメント	自己評価
<b>1 事業計画の達成度</b>		
事業計画の内容に従い、適切に施設の管理運営が行われたか。	コロナ禍の中でも実施できる事業を実施	Ⓐ・B・C・D・E
施設利用者数の増加、利用率の上昇、利用者利便性の向上などの目標は達成されたか。	コロナ禍の中でも最低限利便性向上に向け努力	Ⓐ・B・C・D・E
施設の設置目的にあった成果は上がっているか(目標値を設定していないその他の施設)。		A・B・C・D・E
自主事業は計画どおり行われたか。	コロナ禍の中でも実施できる事業を実施	Ⓐ・B・C・D・E
地域、関係機関、ボランティア等との協働・連携に向けた取組が行われているか。	利用団体とゴミ拾い	Ⓐ・B・C・D・E
<b>2. 利用者の満足度</b>		
利用者の満足が得られているか。	概ね利用者満足	A・Ⓑ・C・D・E
利用者の意見・要望の把握は適切に行われているか。	常時提案箱を設置受付で把握	Ⓐ・B・C・D・E
利用者の意見・要望・苦情への対応は十分行われたか。	早急に回答及び苦情処理を実施	Ⓐ・B・C・D・E
<b>3 管理運営の効率性</b>		
経費の低減が図られているか。またその取組は十分か。	燃料費・光熱水費経費削減	A・Ⓑ・C・D・E
一部業務の再委託に要している経費は、適切な水準か。また、経費が最小となるような取組はされているか。	最低限の委託	A・Ⓑ・C・D・E
収入増加のための取組はされているか。	積極的な合宿誘致	A・Ⓑ・C・D・E
<b>4 適正な管理運営</b>		
人員配置及び職員の管理体制は適正か。	概ね適正	Ⓐ・B・C・D・E
職員の能力向上に向けた取組は行われたか(研修等)。	消防・防災訓練等	A・Ⓑ・C・D・E
施設の平等な利用等について、適切に処理されているか(使用料の減免、還付含む)。	条例に基づき処理	Ⓐ・B・C・D・E

利用者の個人情報等について適正に管理が行われていたか。	苫小牧市個人情報保護条例に基づき管理	Ⓐ・B・C・D・E
収支の状況に不適切な点はないか。会計処理は適正か。	特に問題なし	Ⓐ・B・C・D・E
施設・設備等の法定点検及び保守は、適正に行われているか。	適正に実施	Ⓐ・B・C・D・E
書類・備品等の管理は適正に行われているか。	適正に実施	Ⓐ・B・C・D・E
安全対策（事故防止等）は十分だったか。	定期的な巡回 注意放送	Ⓐ・B・C・D・E
法令・協定書等を遵守し、適正管理が行われているか。	法に基づいた管理	Ⓐ・B・C・D・E
<b>5 地域貢献</b>		
雇用・資材調達・再委託等、地域貢献に努めているか。	地元業者を最優先	Ⓐ・B・C・D・E

- A: 目標、事業計画を上回る取組がされており、管理運営状況は極めて良好である。
- B: 目標、事業計画どおり又はそれ以上の取組がされており、管理運営状況は良好である。
- C: 概ね目標、事業計画どおり行われおり、管理運営も適正で、特段問題は見られない。
- D: 目標、事業計画において一部未達成があるなど計画内容を下回っており、又は管理運営において一部不適正な部分があるなど、改善が必要と認められる点がある。
- E: 目標、事業計画の内容を大幅に下回っており、かなりの部分において改善が必要である。

## 自己評価 ★★★★★

（最大評価を★5つとし、5段階評価で星を塗りつぶしてください。）

### 指定管理者の自己評価(全体を通して)

館の利用状況につきましては、コロナの影響等により昨年より 21,666 人減少しました。主なものとして一般滑走は前年比 258 名の減少、専用利用で 21,408 名の減少でした。利用料金収入については、昨年より 3,462,510 円減額。支出経費については、燃料費が 214,697 円減額し、光熱水費は 3,869,446 円減少しました。

施設の利用促進に向けた取り組みとしては、スキルチャレンジやスケートスクールを実施するなど地域住民がスケートセンターに来場する機会を作り、利用者増を図りました。

また、タイヤメーカーの走行テストなどスケート以外でも幅広い利用がされました。